

議会だより さつま

二十歳の



令和7年
80
2月6日発行

- 特集 せまる、町議会議員選挙 P2
- 条例、補正予算の概要 P3～P4
- 常任委員会審査の概要 P5
- 審議議案と議員の賛否 P6
- 一般質問（8人） P7～P15
- 決算特別委員会、所管事務調査報告 P16～17
- 議会活動・編集後記 P18



《さつま町議会ホームページ》

令和7年4月13日（日）投開票

「町議会議員選挙は4年に一度」

議員定数 **14人**

月額報酬 **277,000円**

年2回の期末手当あり

自分のキャリアや経験、アイデアを町政に活かしてみたい人、
「議員」となって活動してみませんか？



町議会議員
については
こちらから



公費負担
については
こちらから

立候補予定者に対する説明会を令和7年2月18日開催

立候補への必須要件

やる気・情熱

「町を変えたい」、「自分たちの年代の声を町政に活かしたい」、「人のためになるやりがいのある仕事をしたい」など…

投票日に満25歳

さつま町議会議員の選挙権があり、投票日に25歳になっていればOK！

供託金15万円

売名目的や当選を争う意思がない無責任な立候補を防ぐために一時的に法務局に預けるお金。一定得票数を満たせば選挙後に返却してもらえます。

選挙費用は一部が公費負担となります



選挙運動用
自動車の
借り入れ



選挙運動用
ビラの作成



燃料の供給



選挙運動用
ポスターの作成

家庭と議員活動の両立も！



議会の欠席の理由に「産前6週・産後8週の産休」、「介護」、「看護」、「配偶者の出産補助」が加えられ、安心して働きやすい議会となっています。

※このほか必要な書類（立候補の届出等）の提出が必要です。



「税金の使い道、決めるのは議会」

あなたの**1票**が**町**を変える！

「私たちが納める税金（町税）の使い道、決めるのは誰？」実はこの決定権、町民の皆さんの代表である議員が構成する「議会」が持っています。この、税金の使い道の決定権を持つ議員を選挙で選ぶのは、あなた（町民）です。

令和5年度一般会計予算総額は

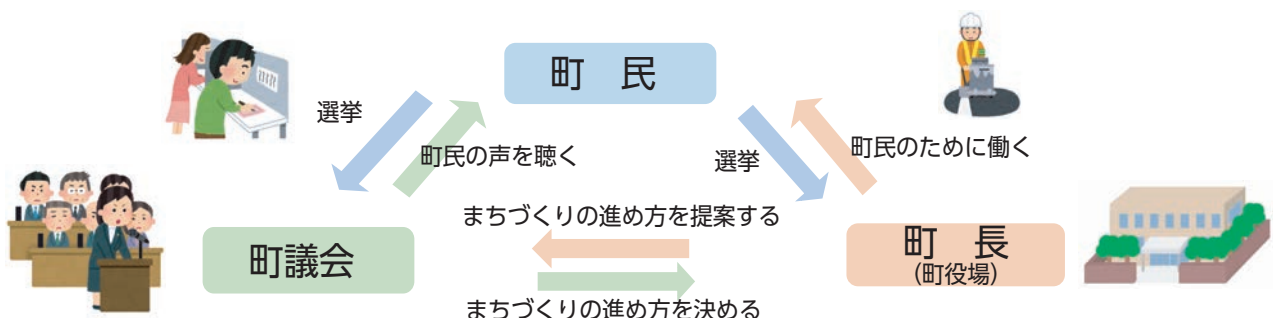
166億3112万1千円

町民一人当たりには換算すると



使ったお金	73万8千円
貯金残高	57万4千円
町税負担額	13万2千円
借金残高	67万2千円

※令和6年3月31日現在の住基人口による



令和6年度各会計12月補正予算額

会 計 名	補正額	補正後の予算総額
一 般 会 計 (6、7、8号)	2億8,614万円	159億4,069万円
特別会計 国民健康保険事業	3,550万円	28億5,694万円
特別会計 後期高齢者医療	34万円	4億1,944万円
企業会計 上 水 道 事 業	402万円	4億1,418万円

※金額は千円単位を四捨五入

12月定例会

第4回定例会は、11月29日から12月19日までの21日間の会期で行われ、専決処分の承認1件、条例の一部改正3件、契約の締結2件、各会計の補正予算などを審議し、提案されたすべての議案を可決しました。

補正予算の概要

町制施行記念事業

672万円

町制20周年記念事業に関する動画・記念誌等の作成及びのぼり旗等の物品購入に係る費用です。



さつま町20周年記念ロゴマーク

公民館等管理運営事務費

2,200万円

薩摩農村環境改善センターの舞台音響システムの老朽化に伴う取替修繕に係る経費です。



薩摩農村環境改善センター

障害福祉サービス費

9,400万円

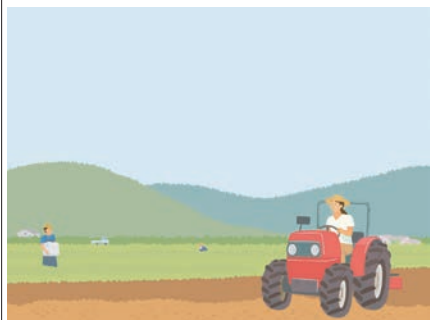
重度訪問介護や就労移行支援、療養介護等の利用者が増加したことによる経費の増額です。



農地中間管理事業費

2,132万円

農地中間管理事業を活用して農地の貸し借り契約を締結した地域に対する協力金です。



介護保険対策事務費

893万円

認知症対応型共同生活介護（グループホーム）が行う、ICT機器の導入経費に対する助成です。



物産観光推進事業費

150万円

城山ホテル鹿児島と連携した地域観光新発見事業による、欧米マーケットに向けた食文化体験の試験ツアーに係る経費です。



ツアーでの鶴田手漉き和紙体験

どう変わった 我が町の条例

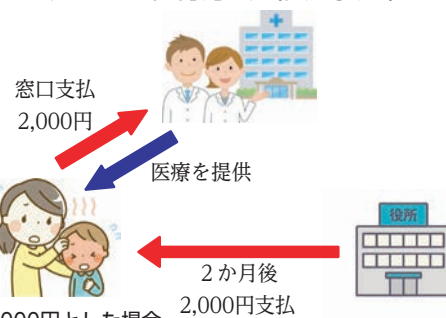
**個人番号の利用及び
特定個人情報提供
に関する条例等の一
部改正**

情報通信技術の活用
による行政手続等に係
る関係者の利便性の向
上並びに行政運営の効
率化を図るためのデジ
タル社会形成基本法等
の一部を改正する法律
の公布に伴い、番号法
の一部改正が行われた
ことから、関係条例の
一部を改正するもので
す。

**地域型保育事業の設
備及び運営に関する
基準を定める条例の
一部改正**

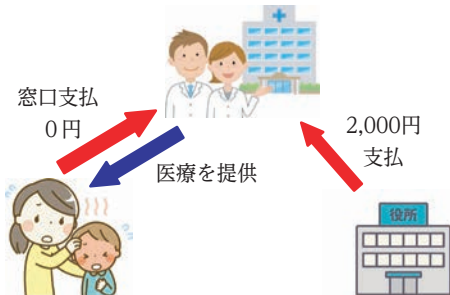
児童福祉施設の設備
及び運営に関する基準
及び家庭的保育事業等
の設備及び運営に関す
る基準の一部を改正す
る政令の公布に伴い、
条例の一部を改正しよ
うとするものです。

今までの給付方式（償還払い）



※保険診療の自己負担が2,000円とした場合

現物給付方式



子ども医療費助成条 例の一部改正

子ども医療費助成制
度を償還払い方式から
現物給付方式に完全移
行することに伴い、条
例の一部を改正しよ
うとするものです。

その他の議決事項

中津川小学校大規模改
造工事請負変更契約の
締結

薩摩小学校の大規模
改修工事に伴う追加工
事を行うものです。

■変更請負金額
1977万

■契約金額
4200円

■契約の相手方
2億6660万

■契約の相手方
1000円

■契約の相手方
末廣・薩摩工務店特定
建設工事共同企業体

※本工事は薩摩小学校校名決定
前に事業化を行っております。



改修された薩摩小学校（旧中津川小学校）

6災第5号グリーン
ロード4号線道路災
害復旧工事請負契約
の締結

令和6年7月に発生
した豪雨災害による災
害復旧工事を行うもの
です。

■契約金額
1億4597万円

■契約の相手方
株式会社白川田工務店

専決処分

1件の専決処分を議
会で承認

衆議院議員選挙及び
国民審査に要する経費
の補正に緊急を要した
ことから、令和6年度
さつま町一般会計補正
予算(第6号)について
専決処分を承認しまし
た。

発 委

さつま町議会会議規則
及びさつま町議会委員
会条例の一部改正

議会に係る各種手続
きのオンライン化への
対応及びさつま町議会
議員定数条例の一部改
正の施行等に伴い、規
則と条例の一部を改正
するものです。

どうなった！あなたの陳情

陳情1件を審査しました

不採択 健康保険証の存続を求める陳情に
ついて

◎陳情者

武 さとみ氏

◇陳情の主な趣旨

マイナンバーカードに健康保険証を組み込んだ
「マイナ保険証」普及のため、令和6年12月2日
に現行の健康保険証の新規発行が終了となる。

マイナンバーカードは他人の個人情報情報がカード
に紐づけされたなど、被保険者や医療現場からも
不安と懸念の声が上がっている。

現行の保険証が何ら不都合なく使用出来ている
ことから、既存の健康保険証を存続させること等
を求めるものです。



陳情報告書の
内容はこちら
から

●発委

委員会が議会に提出
した議案などのこと。

●陳情

町民や団体等が国や
地方公共団体に意見や
要望を述べること。町
議会に提出された陳情
書は常任委員会等で審
査されます。



総務厚生 常任委員会

12月5日開催

さつま町個人番号の利用及び特定個人情報
の提供に関する条例等の一部改正など
議案6件を審査
委員会に付託された議案を全て可決

子ども医療費助成条例
の一部改正

問 現物給付方式となることで町内の医療機関の受診者が増加することとも考えられるが、周知・説明は十分であるのか。

答 受給資格者証等を発行する際、同じ症状に対して複数の医療機関を受診する多受診等がないよう、チラシを配付し、適正な医療の受診を呼びかけている。

令和6年度一般会計
補正予算(第8号)

町制施行記念事業
(672万1千円)

問 今後さつま町の20周年をどのように展開していく計画か。

答 令和7年3月22日に町民大会を開催し、その日を皮切りとして1年間かけ20周年記念事業を実施していきたいと考えている。20周年記念事業の内容については、町長を委員長とする実行委員会を設立し、内容や方向性を協議している。

令和6年度国民健康
保険事業特別会計補
正予算(第3号)

高額療養費
(3430万円)

問 オンライン資格確認等の普及により高額療養費の現物支給が増える要因は何か。

答 これまで高額療養費の適用を受ける際は、事前に役場窓口で限度額適用認定証を申請し、認定証を病院へ持参していたが、オンライン資格確認等を活用することで、役場窓口での申請を受けることなく適用を受けることができ、そのため、現物給付が増加していると推測している。

文教経済 常任委員会

12月5日開催

令和6年度さつま町一般会計
補正予算(第8号) など
議案2件を審査
委員会に付託された議案を全て可決

令和6年度一般会計
補正予算(第8号)

有害鳥獣対策事業費
(88万6千円)

問 サルによる被害状況は。

答 農作物の収穫時期に出没し、佐志新生地区のミカン、求名下手地区のサトイモ、中津川別野地区のウメが大きな被害を受けている。

要請 この回答を受けて、サル、イノシシの出没へ注意喚起や餌付け行為の禁止など、鳥獣被害防止対策の情報について、広報紙等を活用し、町民へ広く周知するよう要請しました。



今後活用予定のサル追い払い用ドローン

公民館等管理運営事務費
(2200万円)

問 舞台音響システム取替修繕の内容は。

答 令和4年度の保守点検において、薩摩農村環境改善センターの音響調整卓が最低評価を受けていたが、これまで使用を続けてきた。最近では音声にノイズが発生するようになったことから、今後予定さ

れているイベントに支障をきたさないよう、現在、進行中である空調チラー修繕に合わせ、音響システムの取替修繕を実施する。

教育委員会事務局費
(5万3千円)

問 学校教育の在り方検討委員会委員の構成は。

答 当初は関係者や地域住民で構成し、必要に応じて学識経験者を招く予定であったが、準備を進める中で、第1回目から学識経験者を委員に加え、意見を聞きながら進めることが望ましいと判断した。

どのような採決を？

12月定例会 審議議案と議員の賛否																	
上程議案・概要・結果	結果	新改	平山	上岡	橋之口	中村	上別府	森山	新改	平八重	有川	古田	岸良	上久保	川口	柏木	宮之脇
賛成：○ 反対：× 欠席：欠 全賛…全員賛成で可決・認定・採択 賛多…賛成多数で可決・認定・採択 賛少…賛成少数で否決・不認定・不採択 賛無…賛成無しで否決・不認定・不採択		幸一	俊郎	一行	富雄	慎一	ユキ	大	秀作	光輝	美子	昌也	光廣	澄雄	憲男	幸平	尚美
令和6年度 さつま町補正予算																	
一般会計補正予算(6回目) 1,529万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(7回目) 1,531万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(8回目) 2億5,555万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
国民健康保険事業特別会計補正予算(3回目) 3,550万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計補正予算(1回目) 34万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上水道事業会計補正予算(2回目) 402万円 増額	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例の制定・一部改正・人事・その他																	
さつま町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例等の一部改正 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律の一部を改正する法律の公布に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町地域型保育事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する政令の公布に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
さつま町子ども医療費助成条例の一部改正 子ども医療費助成制度を償還払い方式から現物給付方式に移行することに伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6次第5号グリーンロード4号線道路災害復旧工事請負契約の締結 工事請負契約の締結に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中津川小学校大規模改造工事請負変更契約の締結 変更契約に伴うもの	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情																	
陳情第7号 健康保険証の存続を求める陳情について(P4関連記事)	全賛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

(注)議長は議事進行を行うため賛否の表明はしません。

令和7年第1回(3月)定例会は2月25日開会予定です

3月定例会予定 議運…議会運営委員会、全協…全員協議会

日	月	火	水	木	金	土
2/16	17	18	19	20 議運	21 全協	22
23	24	25 本会議 (開会日)	26	27	28	3/1
2	3	4	5	6	7 本会議 (一般質問)	8
9	10 本会議 (一般質問)	11 本会議 常任委員会	12 常任委員会	13 常任委員会	14	15
16	17	18 議運 全協	19	20 春分の日	21 本会議 (閉会日)	22

日程は変更になることがあります。
詳しくは議会事務局(24-8911もしくは53-1111)にお問い合わせください。

○日程等は、防災行政無線放送や町ホームページで事前にお知らせいたします。

○鶴田支所、薩摩支所のロビーに設置してあるテレビやインターネット(YouTube)で、本会議の中継を視聴することができます。



QRコードを読み取るとライブ中継画面のページが表示されます。

一般質問

町政を問う



一般質問とは…

各議員が住民の代表として、町の行財政全般にわたり、事務の執行状況や将来に対する方針を聞き、町当局の考え方や疑問をたずねるものです。

単に疑問を解消し、事実関係を明らかにするだけではなく、現行政策の提言をする議員の重要な活動です。

本町議会の質問時間は、質問と町長等の答弁をあわせて1人60分以内となっており、12月定例会では8人の議員が一般質問を行いました。

岸良 光廣（7ページ）

- ・行政改革について

古田 昌也（8ページ）

- ・町長の政治姿勢について

川口 憲男（9ページ）

- ・持続可能な体制づくりについて

橋之口 富雄（10ページ）

- ・国道504号線の整備について
- ・物産館について
- ・公有財産の見直しについて

新改 幸一（11ページ）

- ・今後の農業政策について

上別府 ユキ（12ページ）

- ・探究学習について

中村 慎一（13ページ）

- ・地域における交通対策・政策について
- ・高齢者支援を中心とする地域支え合いについて 他1件

有川 美子（14ページ）

- ・産科・婦人科の創設・誘致について
- ・宮之城文化センター改修の進捗について 他2件

一般質問関係の記事は、各議員から提出された原稿を基に、質問議員の責任において掲載しています。

一般質問1日目の動画配信

岸良 光廣
古田 昌也
川口 憲男
橋之口 富雄
新改 幸一



一般質問2日目の動画配信

上別府 ユキ
中村 慎一
有川 美子





岸良議員の一般質問は
こちらから視聴できます

行政改革

今後の学校再編は

町長／検討委員会で協議を



岸良 光廣 議員

問 令和6年度から令和15年度の9年間で、人口が44,203人から36,100人に減少することになる。これを考えると、今後5年間で再編をどのようにするのか、重要な課題であると思うが、町長はどのように考えているのか。

答 学校再編を含め、さつま町の学校教育ビジョン、つまり学校教育の在り方について検討するため、現在「学校教育の在り方検討委員会」を立ち上げるべく準備を進めている。委員には関係者や地域の方々、学識経験者等をお願いする予定。今後、検討委員会のご意見や地域及び保護者のご意見を踏まえ、検討したい。

小学校別推定児童数

単位(人)

	盈進小	佐志小	山崎小	柏原小	鶴田小	薩摩小	合計
令和6年度	442	79	42	82	96	62	803
令和12年度	332	37	36	49	62	45	561
令和15年度	256	20	36	38	60	32	442

※出生時の住所で算出。

令和15年度は下学年を上学年と同数で算出。

通学バス運行経費

(令和5年度・令和6年度)

単位(円)

		令和5年度	令和6年度
盈進小学校	平川線	5,797,550	7,146,700
	泊野線	6,945,400	8,670,200
	臨時便	168,300	169,740
柏原小学校	紫尾線	6,094,000	7,381,000
薩摩小学校	永野線	-	7,196,200
	中津川・求名線	-	8,735,100
小学校 合計		19,005,250	39,298,940

宮之城中学校	路線バス	6,234,366	1,268,431
	コミュニティバス	3,695,448	1,738,200
	町バス等	5,553,501	2,233,732
	臨時便	7,569,700	4,927,022
小学校 合計		23,053,015	10,167,385

小・中学校 合計	42,058,265	49,466,325
----------	------------	------------

※小学校はスクールバスを運行しています(臨時便は除く)。

令和6年度の中学校は4月～9月までの経費です。

問

令和6年度は1年間で約1億円の経費が掛かっているが、今後は児童数の急激な減少により、路線バス以外の民間が運営を行っている通学バスで、現在使用している大型バスは必要なしとなり、9人乗り・15人乗りの車へ変更が必要と思う。また、小学校再編により通学バスのコースの変更も必要と思われる。

通学バスの見直しは町長／関係機関と協議

通学バスについては、現在運営している民間企業に対し児童数の急激な減少に伴い、5年後には大きな変更があることを説明したほうが良いと思うが、町長はどのように考えているのか。

答

これまでの経緯や現状を踏まえ、関係機関・団体等との検討・協議を行いながら、総合的な交通政策の在り方も含め、安全で安心して児童・生徒が登下校できる環境づくりを努めたいと考える。委託業者とは、年2回話し合いをしており、人数の減少については、今のままで良いのかいろいろ考えている。しっかりと委託業者とも話をしていきたい。



古田 昌也 議員

町政運営

これまでの自己評価は

町長／解決すべき課題がある



古田議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問

上野町政が始まり3年7カ月が過ぎた。就任当初は豪雨災害、その直後から新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、ようやく本年度から町長が考えていた予算編成が出来てきていると感じている。その中でも保育料の完全無償化や課設置条例を改正し、多様化する住民要望に幅広く対応できるように改革を推進され、議会もその重要性を理解し可決した。

答

選挙公約として掲げたマニフェストや第2次総合振興計画に沿いながら、これまで取り組んできた各種事務事業も、議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を頂きながら、概ね順調に進められてきた。しかしながら、多様化する行政課題、未だ解決すべき課題が残されている。これらの課題解決に向けて、引き続き、取り組むためには、さらなる時間と努力が必要であると考えている。このようなことから、再び町民の皆様方のご支持、ご支援が頂けるなら、引き続き町政を担当させていただきたいと考える。今後とも町民の付託に応えるべく「夢と希望のあるふるさとづくり」の実現を目指し、本町の発展と住民福祉の向上に向けて取り組んでいく。

来年度の

予算編成は

町長／

当初予算は

骨格予算

問

来年度の予算はどのような事業に重点を置き、どのような考え方で作るのか。また、職員提案制度の活用などはされているのか。

答

11月22日に課長・係長を対象に予算編成方針説明会を開催した。来年度、町長選挙を控えていることから、義務的経費を主体とする骨格予算となる。また、過去の予算編成においても、職員提案制度を通じて採用された提案を反映したことがある。

問

新米価格が前年度と比較して倍近くに上がった。不安があるのは畜産業の飼料などである。そこで価格の安定化を中央会などに強く要望する考えは無いのか。また、畜産業の支援として買い支えを促す施策を考えないか。

答

米価格の安定化を要望していくことが必要である。また、畜産業の買い支えは、関係機関で検討した経緯はあるが、具体的な実施まで至らなかった。引き続き関係機関と検討していく。



全国でも高値で取引される薩摩中央家畜市場



川口議員の一般質問は
こちらから視聴できます

SDGs

持続可能な体制は

町長／理解促進と普及啓発を



川口 憲男 議員

問 町内の子どもから高齢者まで幅広い普及啓発、推進の結果・将来の展望は。

答

SDGs（※）の貢献度を可視化出来る仕組みづくりや企業活動を後押し出来る仕組みづくり、二酸化炭素排出削減につながる行動を検討していく。本年度から地域企業への理解促進やSDGsへの支援も進めている。

具体的に、企業セミナーの実施、SDGsの理解促進、企業自ら製作するSDGs宣言書の作成支援を行っている。町民への普及啓発に、産業祭でEV自動車の展示、電動車の試乗など、家庭での新しい生活も提案した。

SDGs…

「持続可能な開発目標」であり、「世界中にある環境問題・人権問題・差別・貧困・人権問題といった課題を、世界中のみんなで解決していこう」という計画・目標のことである。



事業者向けに開催したSDGsセミナー

問 「書かない・行かない窓口」等、DXの取組による効果は。

答

役所に行かない窓口サービスは10か月で合計2000件を超える利用があり、役場窓口の混雑解消と来庁時の負担軽減に一定の効果があった。

今後デジタル化の方向性を示す「さつま町DX推進計画」を策定し、行政の業務効率化を進め、町民の利便性・行政サービスの維持と向上を目指す。

問

日本全国で大雨による災害が多発している。森林環境の保全は極めて重要だが、町長の考えは。

答

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの削減のために二酸化炭素の吸収源である森林の果たす役割は大変重要だ。森林資源の循環利用を促進するため、「切ったら植える」というサイクルを確立していくことが重要。森林環境譲与税を活用した再造林の促進に向け、事業に取組み

再造林率も増加傾向である。適切に管理されていない個人所有の人工林が多く、森林内に日光が届かず地表植物も生育しにくいことから、結果的に降雨の流出が早く、災害の激甚化を引き起こす要因になり得る。今後も既存事業の検証や森林・林業の発展に向けた対策を検討し、持続可能な森林づくりに努めたい。



役場本庁舎の書かない窓口



書かない窓口での証明書発行についてはこちらから



橋之口 富雄 議員

振興対策

国道504復旧状況は

町長／早期復旧を強く要望



橋之口議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問

令和6年7月に北薩トンネルが崩落し、さつま泊野インターから高尾野方面が通行止めになっている。本町にとって物流や人流などを担う重要な高規格道路である。早期復旧と今後の活用方法等を考えていく必要があると思うが、町長の考えは。

答

新聞、テレビ等の報道機関による報道のほか県から情報を受け、県や国土交通省に対し地域への影響を説明し、早期復旧を強く要望している。本線の整備効果が町内の産業、観光分野の振興等につながるように、ハード面・ソフト面ともに具体的な施策を展開していく。

問

本町には物産館が5か所あり、20年以上が経過し、老朽化や出品者の高齢化など様々な問題が出ている。また、本町は日本一になった牛肉や米、薩摩のさつま等の特産品も多くある。これらの特産品を販売する魅力ある総合的な道の駅などを、建設する考えはないか。

答

栽培技術研修会の開催による新たな出荷者の開拓や町単独補助事業による生産施設・設備導入、「ぐるっとさつまスタンプラリー」の開催など集客力アップに努めている。令和4年度から温泉と物産館のブランドインク調査を行い、各直売所の出荷者や管理者等に対し、5年後10年後についてアンケート調査も実施している。道の駅の建設は、これらの調査結果を基に研究を進めていく。

観光振興

魅力ある物産館構想は

町長／

町単独補助事業等実施



崩落した北薩トンネル内部（写真は県提供）

財政運営

公有財産の見直しを

町長／

将来の必要性等を検討



利用がなく公売にかかる
旧求名小学校教頭住宅

問

教職員住宅や公施設の老朽化が進み、維持管理が困難になってきていると感じる。公民館や閉校になった学校施設等を地元や企業に貸付け、譲渡しているが、このことをさらに推進し、維持管理費の抑制に取り組む考えはないか。

答

近年、公共施設の老朽化が進み、維持管理に要する費用は多額になっている。公共施設の保有総量の抑制を重視するとともに、効率的・効果的な機能維持や最適な配置による健全財政運営に努めていかなければならないと考えている。活用見込みのない他の遊休施設についても検討し、利用見込みがないものについては積極的な譲渡等に取り組んでいく。



新改議員の一般質問は
こちらから視聴できます

農業政策

挑戦と決断が必要では

町長／関係団体と連携を取る



新改 幸一 議員

問

昭和の時代から平成、令和と年号も変わり、農業従事者の考え方も変化しつつある。食糧基地さつま町も農業政策の「大転換期」がくる。さつま町の将来に向け、挑戦と決断が必要だと思う。今後の農業政策と支援の在り方について町長の見解を問う。

①農地の不耕作地をこれ以上広げないために、農業管理センターを今まで以上に進化させた農業公社の設立や、農業分野に進出される会社等と農業振興に寄与する政策は考えられないか。

答

①平成6年農業管理センター設立から幾度となく、農業公社設立の準備委員会を設置し、協議・検討がされてきた。平成23年度には、さつま町農業公社設立検討委員会を設置し、3年間の協議・検討し、平成26年度農業管理センター総会において、既存の受託組織の弱体化や公社運営の経営的な不安、事業にかかる維持管理経費、他の経営体のやる気を阻害する可能性等の理由により、現在のさつま町地域農業管理センターの機能充実に図ることで検討終了した経緯がある。

また、本町では農業組織経営体として会社等を含めた47経営体が認定農業者として認定を受け、農業振興に寄与されており、今後も町を含め関係団体と連携を取りながら支援していく。

問

②専門有識者（10人程度）の研究會、仮称「さつま町未来農業政策研究會」を立ち上げ、提言をいただき、年次ごとに農業振興計画を推進する考えはないか。

答

②仮称「さつま町未来農業政策研究會」の立ち上げは、これまでの農林業振興対策協議会を専門有識者を含めた新たなメンバーで構成されたものに刷新し、国の動向を注意しながら、柔軟に事業を推進していく。



問

③我が町の農地が大半を占めている。「自分の農地は自分で守るのが基本である」という安心安全の食料提供者として頑張る農業者に対して、農業機械等の更新に一定の支援（補助金）は考えられないか。

答

③兼業農家でも認定農業者になれば、国や町の補助対象は自分で守るという方針から、兼業農家も含め、共同購入・共同利用を進めながら補助要件の見直しを含め検討を図る。





上別府 ユキ 議員

学校教育

探究学習の目的は

教育長／未来切り拓く人材育成



上別府議員の一般質問は
こちらから視聴できます

問

令和7年4月から町内小中学校の児童生徒を対象に探究学習の推進を図るといふ事であるが、その考え方を問う。まず、さつま町として「目指す子ども像」を、どのように描いているか。

答

令和7年度以降の本町が目指す15歳の姿として「夢を抱き、自ら未来を切り拓く力を備えた子」と定め、サブテーマに「探究心あふれるSATSUMAのさつまっ子」と掲げた。これは、本町の子どもたちが学んだことを生かし、将来的にさつま町のために貢献してくれること、国際的視野を持ち、グローバルに活躍できる人材を育成する思いを込めた。

問

今、なぜ探究学習が必要なのか。

答

今の子どもたちの未来では、65%が今は存在しない職業についていると予想される。そのため、予測できない社会の変化に対応し、主体的に関わる必要がある。正解のない予測困難な時代に対応できる人材を育成するために、様々な能力を身に付けておく必要がある。

OECD（※）や日本の経済産業界は、これから必要とする能力・スキルとして、コミュニケーション能力、問題解決能力、主体的行動力、創造力、マネジメントスキル、プレゼンテーション力等、未来社会を切り拓く資質や能力を求めている。

本町で進める探究学習では、児童生徒が疑問を持ったり、興味・関心のあるテーマを自ら選び課題をみつけ、自分で、または他者と協力しながら答えを見

問

①この取組に必要な経費とその内容はどうなっているか。
②探究学習支援員は募集しないのか。
③この取組の経費をふるさと納税でまかなえないか。

答

①子どもたちが探究学習への意識を高めるための講演会の経費、職員の研修や先進地研修視察等の経費を考えている。

②探究学習支援員については研究中である。

③さつま応援基金からの充当は可能。今後内容を充分検討していく。

答

PTAや学校運営協議会等を通じて、地域の皆様にご協力を頂いたり、企業に協力依頼をしたりして、子どもたちの探究的な学びを支援する体制をとっていく。周知については、PTA総会や町P連の会、各学校の各種会合、広報誌等で図り、探究学習を理解してもらい、活動への協力を得ていきたい。

問

地域の理解、保護者、企業、団体、個人などへの周知、協力をどう図っていくのか。



探究学習で伸ばすことのできる能力のイメージ



中村議員の一般質問は
こちらから視聴できます

交通政策

高齢者等の移動手段は

町長／現状維持と新たな検討



中村 慎一 議員

問

独居高齢者が急増する中、地域においても高齢者が安心して暮らすために買物や通院など移動手段は欠かせないが、交通手段のない高齢者が多い一人ひとりを見る視点で実態の把握を。公共交通の現状と今後の推進策は。

答

乗合タクシー等の公共交通は運行エリアや運行曜日の見直しなど効率的な運行により路線の維持確保に努めている。夜間帯について日本版ライドシェアを年内に申請予定。引き続き公共交通の現状の維持確保に努め、新たな交通手段についても検討を進めた。

※その他の質問
・第2次総合振興計画後期基本計画について

支え合い

生活支援は

町長／公的助成を見直す

問

独居高齢者が急増する中で地域の支え合いや健康づくり、生活支援は必要。活動は地域に定着してきているか。また地域リーダーは欠かせない。機運の醸成が必要。活動の現状と地域リーダーなど将来の担い手の確保は。

答

独居高齢者は高齢世帯の約57%を占め、周辺部に限らず中心部も多い。ヘルパー事業所も5か所、新規利用者へのサービス提供が難しいこともある。地域のお助け隊等による高齢者支援が広がるよう、働きかけながら公的助成の見直しも検討する。



J A北さつま
笑味ちゃん1号



プラッセだいわ
とくし丸3号車

地域の買い物支援や見守りを行っている移動販売車

商店対策と

買物支援は

町長／商工会と連携し店舗支援

問

現総合振興計画後期基本計画の策定時に提言された計画審議会の18項目の意見は生かされているのか。地域の商店を守る施策や高齢者等の買物支援対策については取組を進めているか。

答

コンビニ等の台頭、購買者の減少等で経営は厳しい。地域の小売店舗に対しては商工会等と連携して支援に取り組んでいる。お店によっては配達サービスや移動販売事業もある。買物支援は選ぶ楽しみが大事で日常生活の質向上のためには必要。検討したい。

福祉給食は

町長／生活に欠かせない存在

問

給食数が減少し、補助金を増額して運営が維持されているようだ。店舗支援、買い物支援を含めて地域の商店と連携できないか。

答

福祉給食は今年度5万5千食を委託、129人が利用中である。地域の商店等と意見交換しながら検討したい。



高齢者等の食を支える福祉給食

町長／総合的に判断する



有川 美子 議員



宮之城文化センター



鶴田中央公民館



薩摩農村環境改善センター

施設の在り方が議論されている3施設

問 宮之城文化セン
ター大規模改修の
進捗状況は。

答

答 本年度から来年度にかけて設計業務を行い、改修工事へ着手する予定だったが、議会において「大規模改修前に試掘等の調査をし、地盤の安全性を十分に確保するべき」との申入れに基づき、現在、地質調査と杭の健全性調査を実施中である。今後は建設資材や人件費の高騰もあり、工事費の増加も予想されている。調査結果を踏まえ、改めて総合的に判断したい。

問

問 当初予算にて設計業務1億5百万円が承認された。調査等で設計業務に着手する予定が延びているが、今後どうするのか。

答

答 委託期間を設計と積算を含めて15か月を見込んでいた。しかし、地質調査が年度末までの見込みで委託期間の確保が難しい。今年度の発注はできない。

問

問 9月議会では、類似施設の薩摩農村環境改善センター空調チラー修繕2400万9000円が承認された。更に12月議会にて、舞台音響システムの取替修繕2200万円が計上されている。薩摩農村環境改善センターは耐用年限が残り18年、鶴田中央公民館は残り12年ある。耐用年限の残る類似施設があるのに、集約するのはもったいないと思うがどうか。

答

答 公共施設の個別施設管理計画の中で3つとも残すことは考えていないが、非常時のために最低2つの施設は必要だと考えている。物価高騰等により、建設単価が高くなっているので、令和5年度の試算がそのまま使えるとは思っていない。今後については調査結果と現状等や人口減少を踏まえ、総合的に判断していく必要がある。

産・婦人科創設誘致を

町長／人材確保が厳しい

問

問 安心して子育てのできる町として、まず妊娠時からの医療体制が重要。また、婦人科は月経の悩みから妊娠、更年期障害等の女性特有の病気に関する重要な医療である。創設及び誘致等の考えはないか。

答

答 重要性は十分認識している。北薩3市2町で医療体制確保推進協議会を設置。県事業を活用し、川薩保健所管内の産婦人科に対して医師・助産師確保を目的とした補助金等を交付中。確保は厳しい状況だ。本町での創設・誘致は難しい状況のため近隣各市町と連携し、医療体制の確保に努める。

※その他の質問

- ・ 町内イベント・行事の見直しについて
- ・ 町外へ通学する高校生や寮生への町外補助金について

決算特別委員会

決算特別委員会は、令和6年9月定例会で上程された令和5年度の決算議案について、その認定審査のために令和6年9月25日に設置され、8人の委員で構成されました。

令和6年11月29日にすべての決算議案が認定・可決されました。

上程された決算議案

- ・令和5年度さつま町歳入歳出決算の認定について
- ・令和5年度さつま町上水道事業会計決算の認定について
- ・令和5年度さつま町上水道事業会計未処分利益剰余金等の処分について

審査は、予算の適正な執行、事業による行政効果や経済効果、今後の行財政執行上改善すべき点等に主眼を置き、慎重に審査を行いました。

◆主な審査内容

問 令和5年度をもつて二渡のホタル舟は運航終了となり、奥薩摩のホタル舟も5年連続で休止となる中、ホタルのまちづくり事業の状況はどうか。

答 さつま町、漁協、川内川河川事務所、ダム関係者などの関係機関で構成される「ほたる再生プロジェクト協議会」を設立して具体的な再生計画を策定し、ホタルを増やす取組を進めたい。



最盛期のさつま町のホタル

作 秀 昌 幸 俊 郎 富 雄 光 輝 美 子 廣
改 古 新 平 橋 平 有 岸
新 田 改 山 之 口 八 重 川 良
委員 長 副 委 員 委 員

令和5年度の

決算を問う！

私たちの税金は
目的どおり使われたか？無駄づかいはなかったか？その効果を問う！

問 不法投棄防止に向けた取組は。

答 地域住民から情報提供を受けて職員や町内20地区の環境美化推進員により回収しているところである。不法投棄が繰り返される場所などには、防犯センサーカメラを設置するなど対策を行っている。

問 文化施設整備の方向性を大規模改修と決定しているが、他の文化施設との比較や多額の費用をかける改修の必要性は。

答 宮之城文化センターの大規模改修は「町文化施設整備委員会」の意見を踏まえて決定した。鶴田中央公民館と薩摩農村環境改善センターは、さつま町公共施設等総合管理計画において将来的に統合するという方向性を出している。

問 人口減少や交付税減額が予想される中、持続可能なまちづくりを考えると、指定管理者にも施設の維持管理に積極的に取り組んでもらう必要がある。今後、負担割合を見直す考えはないか。

答 指定管理施設においても老朽化が進んでいるため大規模な修繕が必要なケースが増えている。指定管理者にも施設の寿命を延ばす一定の責任がある。特に収益性の高い施設については、修繕費の負担割合を見直す必要があると考えており、役場内に設置した指定管理者制度専門部会において検討を進め、令和8年度からの新たな指定管理に向けて議論を深めたい。



決算特別委員会の
報告内容はこちらから

要請

この回答を受けて、決算書の提出と修繕費の負担割合見直しは、町民への説明責任を果たし、将来の財政運営を安定させる上で不可欠であることから、町長にはこの点を重く受け止め、指定管理者制度の積極的な改革に取り組まれるよう要請したところであります。

問 自家用旅客運送の実証実験の結果を踏まえ、地域交通の課題解決に向け、どのような対策を検討しているか。

答 今回の実験は運行可能な時間帯を優先的に設定したため、早朝や夜間の実験については、まだ検討段階である。今後、ドライバー不足だけでなく、タクシー事業者の経営状況も考慮しながら、地域住民のニーズに応えるため地域公共交通の維持改善に努めたい。

総務厚生常任委員会

所管事務調査

令和6年10月31日から11月1日の日程で、総務厚生常任委員会の先進地視察研修が行われました。

●視察先

島根県邑南町
おのなんちよう

●内容

・子育て支援策
・A級グルメ構想によるまちづくりについて

A級グルメ構想によるまちづくりは、平成23年に町内の食資源を活かした「A級グルメ構想」を掲げ、町で生産したものを町で調理・加工し、町で消費してもらおうという、究極の6次産業化を目指したものであります。A級は高級ではなく、100年先の子どもたちにも伝えたい「永久」

の価値のあるものという思いが込められております。主要施策として、地域おこし協力隊制度を活用し、シェフ研修生をインターン者として受け入れる「耕すシェフ」制度や町営レストランの開業、参加型の「食の学校」と「農の学校」を実施し、地域経済の活性化を図る取組がなされております。このような取組が功を奏し、平成23年に36店舗であった飲食店が令和4年には53店舗に増加し、地域活性化につながっております。



邑南町での視察研修

●視察先

広島県安芸高田市
あきたかた

●内容

・多文化共生のまちづくり
・外国人に対する防災対策の取組について

安芸高田市の外国人人口比率は4・2%、市内の外国人数は10年間で約1・9倍であり、国籍別では「ベトナム」「タイ」「フィリピン」

の外国人が多くなっております。人口減少・少子高齢化の中、外国人の定住化が進むと見込まれることから、平成22年度に人権多文化共生推進室が設置され、外国人支援をいち早く進め、外国人相談窓口を設け、相談員・推進員・翻訳員を常駐させ、通訳等の対応をしております。

邑南町の子育て支援策では、「子育て」を中心とした施策から、「子育て」をテーマとした施策へ転換し、子ども自らが成長する力をサポートしていくとのことであり、住民主体型の施策の重要性を改めて感じたところであります。

A級グルメ構想によるまちづくりでは、地域おこし協力隊を活用した施策が定住・就業につながっており、地域おこし協力隊制度の活用など参考にできる部分が多いと考えます。

災害発生時等の緊急時における避難指示は、緊急メールやホームペー

次に、安芸高田市の多文化共生の取組では、多文化共生は人権問題も大きく関わってくることから、国籍や言語、文化等の違いを認め合い、対等な関係を築くことが重要であると感じたところであります。さつま町の外国人数は今後も増加の見込みであることから、住民に対して意識啓発も必要と考えます。

子育て支援策では、平成23年度から10年間で日本一の子育て村構想として掲げ、地域で子育てをキーワードに、住民、地域、行政が一体となった取組を意識し、積極的な子育て支援に取り組んできております。

主要施策として、早期から様々な子育て支援策に取り組んできたことにより、人口減少推移は当初の予測に比べ緩やかになっております。

また、市内の旧少年自然の家を改修し、多文化共生センターきらりとして運営し、多文化共生の推進拠点施設となっております。運営は指定管理であり、

さつま町の外国人人口は今後も増加の見込みであることから、住民に対して意識啓発も必要と考えます。

議 会 活 動

12月12日	10月10日	9月9日	7月7日	1月4日	令和7年 25日	24日	12月19日	11月29日	26日	23日	13日	12月12日	10月10日	8月8日	2日	11月1日	10月31日	30日	10月28日	令和6年
さつま町消防出初式	さつま町商工会初春のつどい	町内企業年始あいさつ回り	町内年始あいさつ回り	さつま町二十歳のつどい	日特WKS公園記念植樹祭	倉内工業団地第4工区 造成工事安全祈願祭	第4回定例会（12月議会） 及び各常任委員会等	町議会単独議員研修会	さつま町区公民館対抗 グラウンド・ゴルフ大会	全国大会	第68回町村議会議長会	第33回暴力追放県民大会	さつま町駅伝競走大会	町戦没者追悼式	薩摩中央高校創立20周年 記念式典・祝賀会	所管事務調査 関連記事P17掲載	総務厚生常任委員会	整備促進期成会等 県要望	町議会単独議員研修会 （町総合防災訓練視察）	



町議会単独議員研修会 町総合防災訓練視察
(10月28日)



倉内工業団地第4工区造成工事安全祈願祭
(12月24日)

編集後記

昨年能登半島を襲った地震から1年。今年は昨年と違った天気の良いおだやかな新年を迎えられたことと思います。

さつま町が誕生して20年、議会だよりも今回で第80号となります。議会だよりを発行するにあたり、常に町民の目線で議会活動を報告し、理解してもらえようと考えて委員一同編集作業を行っております。

今年は4年に1度の町議会議員選挙も控えております。これまで以上に皆様から関心を持って頂けるような紙面づくりに取り組んでまいります。

（橋之口 富雄）

議会広報特別委員会

委員長 有川 美子
副委員長 平山 俊郎
委員 橋之口 富雄
委員 上別府 ユキ



《表紙紹介》

令和7年1月4日に二十歳のつどいが鶴田中央公民館で開催されました。これまでの成人式が二十歳のつどいと名前を変えてから3回目の開催となりましたが、名称が変わっても式典に参列された方々の晴れやかな表情はいつまでも変わらないですね。